

○自衛隊地方協力本部に対する支援の強化について（通知）

海幕人第5166号
平成元年11月1日

改正 平成19年1月9日 海幕人第48号〔内部部局等の改編に伴う関連通知の一部変更について(通知)第2項による改正〕

海上幕僚監部人事教育部長から各部隊の長・各機関の長あて

標記について、下記のとおり通知する。

記

各部隊等においては、縁故募集の促進、体験航海、体験搭乗等による募集広報並びに地方協力本部に対する人的及び物的支援を鋭意実施されているところであるが、最近の民間雇用情勢の好転と対象者の職業に対する意識や価値観の多様化等を反映して募集環境は著しく厳しさを増している。とり分け、海上要員の募集、特に良質隊員の確保については困難な情勢にあり、海上自衛隊としてもこれに全力を傾注して対処する必要がある。

このため、地方協力本部に対する支援を次のとおり強化する。

1 募集基盤及び募集源拡大の努力

海上自衛隊は厳しい募集環境を打破するため、「後輩の募集は海上自衛官自身の問題である。」ことを強く認識し「部隊として募集に如何に寄与出来るか。」を真剣に考えなければならない時期に達している。このため、下記の事項を推進し募集基盤及び募集源の拡大を図る。

- (1) 各部隊等が実施する各種行事等に婦人及び青年層を積極的に取り込み、海上自衛隊の理解者層の拡大を図る。
- (2) 創意工夫を凝らした基地開放、艦艇公開等を幅広く計画し、積極的な広報を推進する。
- (3) 地域住民等との交歓の場を積極的に設定し、部隊見学、防衛講話等を実施する。
- (4) 地域で実施する各種行事や競技会等に積極的に参加し、海上自衛隊を広報する。
- (5) 民間サークル等で活躍し指導的立場にある自衛官等を部隊を挙げて支援し、海上自衛隊理解者層の輪を拡大する。
- (6) 隊友会、父兄会及び防衛協力会等協力諸団体に積極的に働きかけ、海上自衛隊の募集基盤及び募集源拡大への協力要請を実施する。

2 高在生募集に対する自主的広報の推進

海上自衛隊志願者の増大及び入隊意欲の推進を図るため、各部隊等は高在生の部隊見学等を自主的に計画し、地方総監部を通じて最寄りの地方協力本部に通知する。この際、地方総監部は事前に方面総監部（地方協力本部）の要望等を確認しておく。また、計画の立案にあたっては高在生が就職する職場として興味を十分与えるよう考慮するとともに海上自衛隊のセールスポイントを十分活かせるよう配慮する。

3 高卒隊員による出身高校及び高在生に対する募集広報の支援

地方協力本部は新規高卒者の良質隊員を獲得するため、夏季及び年末年始休暇等を利用し、高卒隊員による出身高校及び高在生に対する志願及び入隊勧誘等の募集広報を積極的に計画している。各部隊等は地方協力本部（方面総監部経由）から地方総監部に依頼のあつた隊員を積極的に派出し支援する。

4 退職する隊員に対する温かい対応

諸般の理由により退職する隊員に対し温かい対応を実施することは、家族、友人、学校関係者等を含め海上自衛隊に対する信頼感を高め、海上自衛隊の良き理解者の拡充に通じるものである。

- (1) 本人の立場にたつて指導する。
- (2) 任期制隊員に対し就職援護のための求職票等を早期に提出するよう指導し、就職援護希望率の向上を図る。
- (3) 1任期までに退職を希望する隊員の分隊長等は、採用した地方協力本部に退職理由等を連絡し、地方協力本部と連携して継続勤務の指導に当たる。また、当該隊員が退職する場合、退職後も海上自衛隊の良き理解者となるよう温かい思いやりに満ちた処遇を行う。

関連文書：1 海幕人第 5882 号（46.11.9）

2 海幕人第 4743 号（48.9.17）

3 海幕人第 4880 号（58.12.2）

写送付先：部内全般